

JR 東日本グループ初、元駅員が手掛ける

直営クラフトビール醸造所「中央線ビアワークス」が 2025 年夏に誕生

～JR 中央線東小金井駅～武蔵小金井駅間高架下から沿線のクラフトビール文化を発信～

JR 東日本グループの株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン(本社:東京都小金井市/代表取締役社長:小澤裕)は、「中央線ビールフェスティバル」を始め複数のクラフトビールイベントの企画・運営や、駅員が育てるホップを使用したオリジナルビールを委託醸造で製造・販売してきました。この経験を活かし、この度 2025 年夏頃 JR 中央線東小金井駅～武蔵小金井駅間の高架下に直営のクラフトビール醸造所「中央線ビアワークス」を開業します。

- JR 東日本グループで初のクラフトビール醸造事業であり、小金井市内で初めての醸造所となります。
- 「中央線ビアワークス」では元駅員がブルワー(醸造家)として地域の魅力を発信する商品開発に取り組みます。
- 醸造所に併設するタッブルームでは、「中央線ビアワークス」醸造のクラフトビールのほか、ゲストビールとして多摩エリアを中心とした個性豊かなクラフトビールなどを取りそろえ、皆さまに楽しんでいただける地域交流の場を提供します。

■醸造所概要

醸造所名: 中央線ビアワークス(CHŪŌ LINE BEER WORKS)

所在地: 東京都小金井市緑町5丁目3番(JR 中央線東小金井駅～武蔵小金井駅間高架下)

施設: 敷地面積約 450 m²、延床面積約 255 m²(軽量鉄骨造1階建)

醸造施設、タッブルーム、事務所、倉庫

主な醸造設備: 仕込み設備 500 リットル、発酵タンク 7 基、缶充填設備など

開業時期: 2025 年夏頃予定



醸造所外観イメージ



タッブルーム内装イメージ



位置図

■ロゴマーク

私たちは、地域の絆を深め、広げるためにビールの醸造を始めます。

ロゴには駅員が収穫したホップや醸造するビールを街に届ける様子を表現した「駅員」と「ホップ」をデザインを中心に取り入れました。



中央線ビアワークス

CHŪŌ LINE BEER WORKS

コンビネーションマーク



ロゴマーク

■これまでのクラフトビールに関する取り組み



クラフトビールイベントの様子



オリジナルエール「ぽっぽやエール」



駅員によるホップ栽培

当社は中央線沿線の豊かなくらしづくりとクラフトビール文化の醸成に向けて3つの取り組みを行っています。

- ① 2018年より JR 中央線・南武線沿線にてクラフトビールに関するイベント(中央線ビールフェスティバル、南武線ビアマルシェ、西国分寺ビアフェスタなど)を実施。
- ② クラフトビールの原料の一つであるホップを JR 中央線・南武線の各駅など合計 11 か所(車両センター、ショッピングセンター含む)で駅員や社員自身が栽培。
- ③ 駅員が育てたホップを使用したオリジナルエールビール「ぽっぽやエール」を 2021 年より駅や沿線各地のイベントで販売。 ※「ぽっぽやエール」は JR 中央線高架下にある 26K ブルワリーに製造委託をして生産しています

【プロジェクトストーリー】

中央線ビールフェスティバル

https://www.jrccd.co.jp/company/communitydesign/feature_2/

南武線ビアマルシェ

https://www.jrccd.co.jp/company/communitydesign/feature_10/

【お問い合わせ先】

株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン 広報 (電話)042-316-4401 (Mail)press@jrccd.co.jp